

株式についてのご案内	お知らせ	
事業年度 4月1日～翌年3月31日	株式に関する各種お手続きについて	
期末配当金 受領株主確定日 3月31日	●特別口座に記録された株式	
中間配当金 受領株主確定日 9月30日	お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
定時株主総会 毎年6月	<ul style="list-style-type: none"> 特別口座から一般口座への振替請求 単元未満株式の買取（買増）請求 住所・氏名等のご変更 特別口座の残高照会 配当金の受領方法の指定（*） 	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL:0120-232-711（通話料無料）
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社	特別口座 口座管理機関	[手続き書類のご請求方法] ●音声自動応答電話によるご請求 TEL:0120-244-479（通話料無料） ●インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL:0120-232-711 （通話料無料）	株主名簿 管理人	
同連絡先	（*）特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はご選択いただけません。	
上場取引所 東京証券取引所 市場第一部	●証券会社等の口座に記録された株式	
公告掲載URL http://www.taiyo-hd.co.jp （ただし、電子公告によることが できない事故その他やむを得ない 事由が生じた場合は、日本経済 新聞に公告いたします。）	お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
	<ul style="list-style-type: none"> 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL:0120-232-711（通話料無料）
	●配当金計算書について	
	同封いたしております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づき作成する「支払通知書」を兼ねております。配当金をお受取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。なお、配当金を証券口座でお受取り（株式数比例配分方式）の株主様は、お取引のある証券会社へご確認ください。	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

TAIYO HOLDINGS REPORT 2017

決算のご報告

2016年4月1日～2017年3月31日

第71期

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施しております。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4626

いいかぶ

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。
ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝（図書カード500円）を贈呈させていただきます

※本アンケートは、株式会社 a2media（エー・ツー・メディア）の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
（株式会社 a2media についての詳細 <http://www.a2media.co.jp>）
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。
●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」 TEL:03-5777-3900（平日 10:00～17:30）MAIL:info@e-kabunushi.com



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

トップメッセージ

太陽ホールディングスの 経営理念と経営基本方針

経営 理念

我がグループの「あらゆる技術」を高め、
革新的な製品をもって、夢あるさまざまなモノを
グローバルに生み出し、楽しい社会を実現します。

経営基本方針

- 1 我がグループは利益を生み出し企業価値を高めることで、
お客様・地域社会・株主及び従業員の幸福と繁栄に寄与します。
- 2 我がグループは経営理念の達成にあたり法令遵守、環境保護、
品質管理の徹底、社会貢献を含め企業の社会的責任を全うします。
- 3 我がグループはグローバル体制を活用し、常に優れた製品と
サービスの提供を行います。
- 4 我がグループは常に従業員が挑戦し成長できる機会を生み出し、
自ら目標を立て、その実現に向けて高い志を持つ集団を目指します。
- 5 我がグループは「スピード&コミュニケーション」をキーワードに、
グループ内各社の連携と全員のチームワークを活性化することで、
企業総合力を高めます。
- 6 我がグループは絶えず技術革新に努め、新製品や新事業を
創造することで、楽しい社会の実現に貢献できるグローバル企業を
目指します。



代表取締役社長
佐藤 英志

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第71期における世界経済は、米国経済は、引き続き好調な個人消費や企業の投資活動の復調による緩やかな景気の回復が続き、欧州経済においても個人消費の緩やかな改善を背景にした景気の回復が続いています。一方、中国経済は、住宅投資の伸びの低下や、過剰生産能力の削減圧力が強く、先行きは慎重にみる必要がありますが、所得の堅調な伸びを背景に底堅く推移しました。日本経済においては、一部に改善の遅れも見られますが、緩やかな回復基調が続いています。

このような状況の下、第71期の当社グループの業績は、販売数量は前期を上回る水準で推移しましたが、為替が円高に推移した影響もあり、売上高・親会社株主に帰属する当期純利益ともに前期を下回る結果となりました。

なお、第71期の期末配当金につきましては、従前の発表どおり1株当たり65円10銭とさせていただきます。これにより、当期の年間配当金は、先に実施しました中間配当金55円を含め、1株につき120円10銭となり、前期と比べ年間10円10銭の増配となります。また、次期の配当金につきましては、中間配当金、期末配当金ともに65円10銭、合わせて1株当たり年間130円20銭を予定しております。

株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2017年6月

ソルダーレジストの役割

スマートフォンなどのデジタル家電や、車載電子機器などのエレクトロニクス製品にはプリント配線板が用いられています。当社グループの主力製品であるソルダーレジストは、このプリント配線板の回路表面を覆うことで外部環境から保護し、長期間の安定した使用を可能にします。

1 不要部分へのはんだの付着防止

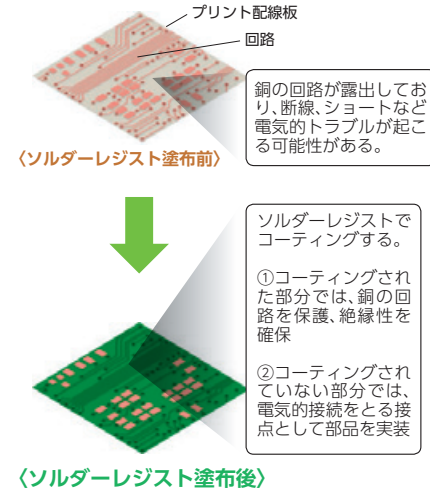
プリント配線板に各種の部品が実装される際に、電気的接続をとる接点以外にはんだが付着しショートを起こすのを防止する役割があります。

2 ほこり、熱、湿気などから回路を保護

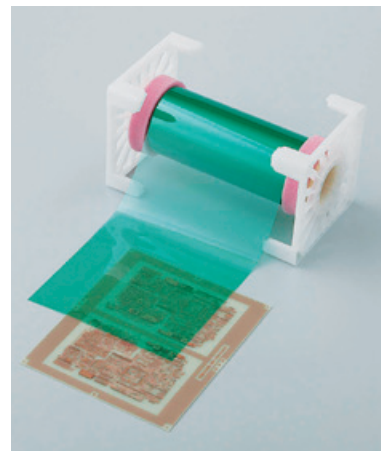
ほこり、熱、湿気などの外部環境から回路を保護します。これによって電子機器は長期にわたり安定した動作が可能になります。

3 回路間の電気絶縁性の維持

電子機器の小型化に伴い、一般基板の回路の幅は50~150μm程度、半導体パッケージ用基板ではさらに細線化しています。ソルダーレジストは回路間の絶縁性を維持し、ショートを防止します。



ドライフィルム型ソルダーレジスト



半導体パッケージ用基板や、高い信頼性が求められる車載用の一部の電子機器用プリント配線板に使用されます。半導体の発する高温に長期間耐え、品質劣化が起こりにくいことや反りが少ないなどの特徴があります。

また、ソルダーレジストの厚みのバラつきによる半導体の実装への影響をおさえるため、あらかじめフィルム状に加工し厚みを均一にしています。

特徴

- ・表面平滑性に優れている(凸凹が少ない)
- ・含有溶剤が少ないため、顧客での使用環境に優しい
- ・回路間の気泡が少ないため品質が向上する
- ・使用時の工程が少ないため生産性が良い

主な用途



TAIYOのQ&A

Q

太陽HDグループはどんなインキを扱っているのですか？

A

一般的な印刷用のインキやペイント用のインキではありません。当社グループでは電子機器の心臓部の1つである**プリント配線板を保護するインキ**を扱っており、そのインキをソルダーレジストといいます。

One Point

当社グループの**関連市場は電子部品業界**となります。

A

Q

ソルダーレジストはどのような電子機器に使用されていますか？

世界シェア
トップクラス

ソルダーレジストで保護されたプリント配線板は、スマートフォンなどのデジタル家電や車載電子機器など世の中の**あらゆる電子機器**に使用されています。

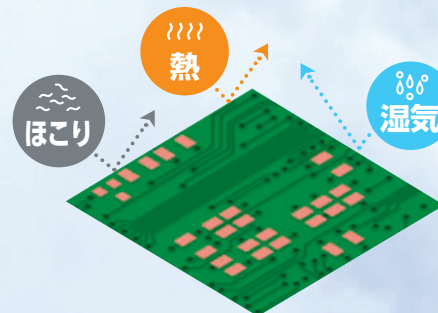
One Point

当社グループのソルダーレジストは**トップクラスの世界シェア**であり、**全世界で欠かさない製品**といえます。

A

Q

ソルダーレジストはなぜ必要なのですか？ソルダーレジストを使用しないとどうなりますか？



ソルダーレジストを使用しないと、ショートを起こすなど電子機器本体の**故障の原因**となります。

ソルダーレジストは耐熱性や耐薬品性に優れており、プリント配線板をほこりや熱、湿気から保護しています。また、電気的なトラブルを防ぐ絶縁体としての役割を果たしています。

One Point

当社グループのソルダーレジストはあらゆる**電子機器が正常に安定して機能するために必要な製品**です。また、**電子機器の性能向上にはソルダーレジストの技術革新が必要**であり、トップメーカーである当社グループにとっての責務です。

DIC株式会社と資本業務提携を行いました

この度、当社とDIC株式会社は、当社グループの持つプリント配線板及びソルダーレジストのサプライチェーンを活用した市場ニーズの把握及びマーケティング力と、DICグループが持つ素材開発力、全世界に展開する生産・物流拠点、そして資金力を結集することによって、目前の大きな事業機会を捉えることが可能となると判断し、互いを業務提携先を選び、戦略的パートナーシップを組むとともに、当社グループの短期的な経営課題の解決と中長期的な経営戦略の推進に必要な資金を調達することを目的として、本資本業務提携を行いました。

DICグループは、印刷インキの製造販売で創業し、その基礎素材である有機顔料と合成樹脂をベースとして事業範囲を拡大し、素材から加工に至る広範な製品群を取り扱っており、現在では、世界60以上の国と地域にわたって、プリンティングインキ、ファインケミカル、ポリマ、コンパウンド、アプリケーションマテリアルズの5つのセグメントを通じて、社会とお客様のニーズに対応した製品を提供しています。

DIC株式会社ってこんな会社

商号：DIC株式会社
 本社：東京都中央区日本橋三丁目7番20号
 ディーアイシービル
 創業：1908年2月15日
 資本金：966億円
 従業員数：連結20,481名 単体3,510名
 (2016年12月31日現在)
 連結売上高：7,514億円(2016年12月期)



提携によるメリット

両社の技術を駆使した、成形回路部品等新しいプリント配線板用部材の共同開発

DICの高い「樹脂開発技術」「顔料分散技術」を活用したプリンタブル方式の配線板材料の共同開発

DICの電子分野市場向けの新規事業において、当社の業界への太いパイプや評価技術を活用した製品改良と迅速な立ち上げ

DICの海外工場へのソルダーレジストの製造委託による、製造コストの削減とDIC海外工場の稼働率向上

「エレクトロニクス分野」を担うグループ企業を紹介します

当社は、総合化学メーカーへと成長するための基盤とすべく、これまで化学を基礎とするエレクトロニクス分野での事業に注力して参りました。その一翼を担うグループ会社の中外化成株式会社と太陽インキプロダクツ株式会社をご紹介します。

中外化成株式会社

2015年6月に同社株式を取得し、当社の子会社となりました。主に機能性色素、染料、医薬・ハロゲン系・農薬中間体、特殊化学品等の製造販売及び化学に関する業務の受託を行っており、常に市場ニーズや需要家の要望に応じた付加価値の高い製品を提供しています。

本年6月に社内の体制を一新し、これまで以上にケミカルエキスパートとして積極的に事業を展開してまいります。



Corporate Profile

社名：中外化成株式会社
 事業内容：染料、中間体等の製造販売及び化学関連の業務受託
 所在地：福島県二本松市赤井沢35番地3
 設立年月日：1941年9月18日
 資本金：49,500,000円

太陽インキプロダクツ株式会社(韓国)

マーケティング機能の強化と半導体パッケージ向け製品の販売のため2015年4月に韓国に設立いたしました。

韓国は、半導体メーカーや半導体製造の後工程受託事業者が数多く存在し、半導体事業を積極的に展開していくためには大変重要な市場になります。この韓国市場における市場動向の調査およびシェアの向上のための販路拡大を担っております。



Corporate Profile

社名：太陽インキプロダクツ株式会社
 事業内容：マーケティング及びプリント配線板用部材の販売
 所在地：京畿道安山市壇園区新吉路8 ハンジュンビルディング7、8階
 設立年月日：2015年4月1日
 資本金：100,000,000韓国ウォン

今後も化学を基礎とし成長が見込まれる事業分野へ積極的に取り組み、総合化学メーカーへと成長してまいります

当期の概況

当社グループの関連市場である電子部品業界については、スマートフォンや車載関連部材の需要が堅調に推移しました。このような状況の下、為替が円高に推移した影響を主要因として、第71期の売上高は478億66百万円(前期比4.0%減)となりました。

製商品目別では、リジッド基板用部材については、販売数量は前期並みの水準で推移しましたが、為替が円高に推移した影響もあり、売上高は332億16百万円(同5.7%減)となりました。

半導体パッケージ基板用及びフレキシブル基板用部材については、販売数量は前期を上回る水準で推移したものの、為替が円高に推移した影響もあり、売上高は103億48百万円(同3.4%増)に留まりました。

以上の結果、営業利益は92億21百万円(同15.9%

減)、経常利益は92億2百万円(同17.3%減)となり、親会社株主に帰属する当期純利益は63億98百万円(同17.9%減)となりました。

次期業績の見通し

次期の事業環境は、当社グループの関連市場である電子部品業界におきましては、車載関連部材や高機能なスマートフォン関連部材の需要は堅調に推移する一方で、一般家電製品は低調に推移すると見通しています。

また、中国での環境規制の強化による原材料費の高騰や人件費の上昇を予測しています。

さらに、当社グループの海外売上高比率が高いことから、次期は円高の進行により業績に影響が生じることを想定しています。

次期の連結業績予想

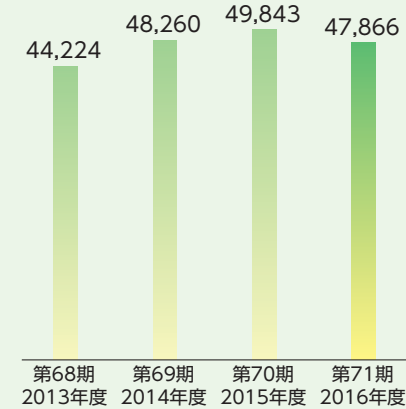
科 目	第71期の実績(百万円)	第72期の見通し(百万円)	増減率(%)
売 上 高	47,866	46,400 (49,700 ^{*2})	△3.1 (3.8 ^{*2})
経 常 利 益	9,202	8,000 (9,600 ^{*2})	△13.1 (4.3 ^{*2})
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	6,398	5,600 (6,700 ^{*2})	△12.5 (4.7 ^{*2})

※1 第72期の見通しは、期中平均為替レートを1ドル当たり100円として算定しています。

※2 (ご参考) 期中平均為替レートを第71期と同水準の1ドル当たり109円とした場合の第72期の見通しです。

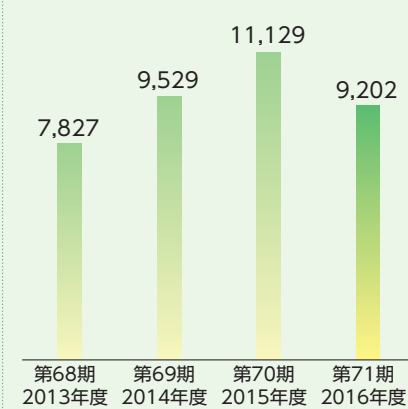
売上高

(単位：百万円)



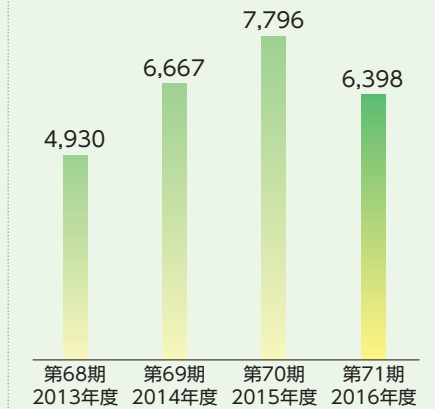
経常利益

(単位：百万円)



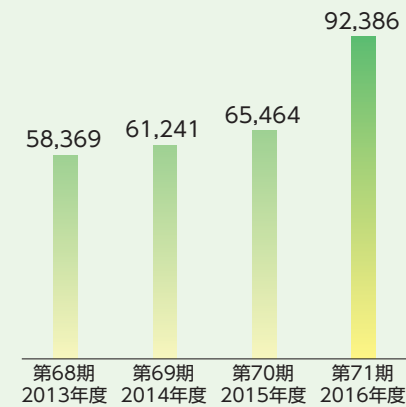
親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



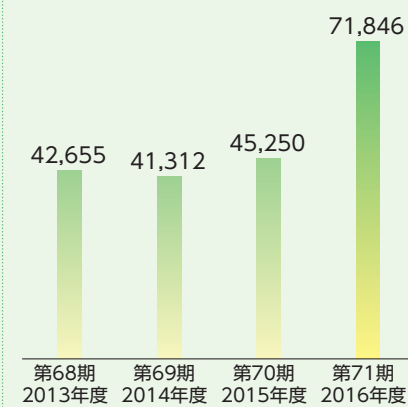
総資産

(単位：百万円)



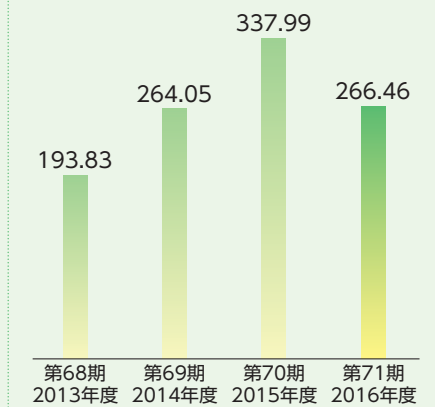
純資産

(単位：百万円)



1株当たりの当期純利益

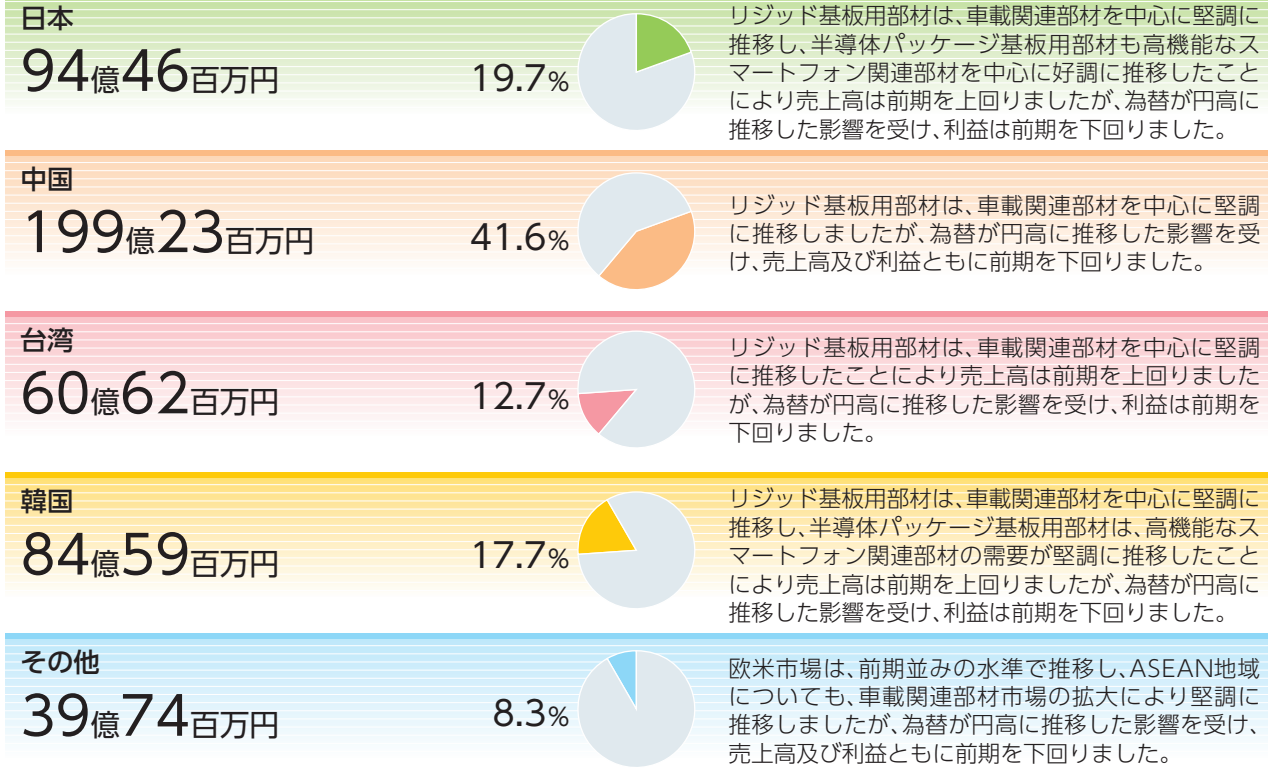
(単位：円)



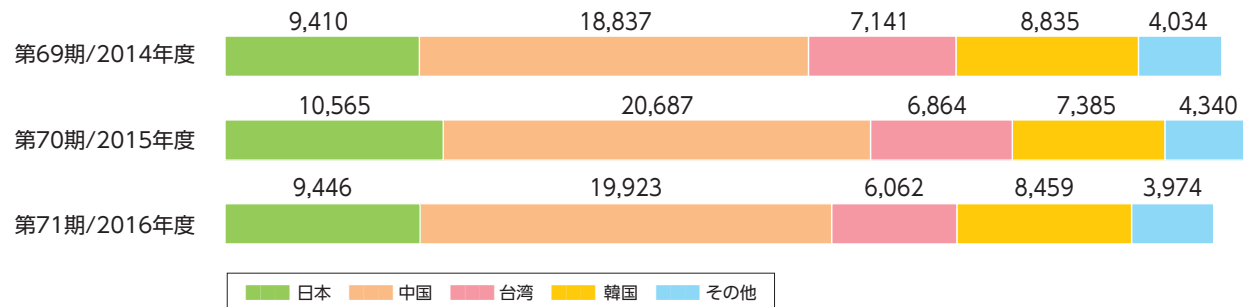
セグメント別売上高の概要

Segment Review (sales areas)

売上高構成比



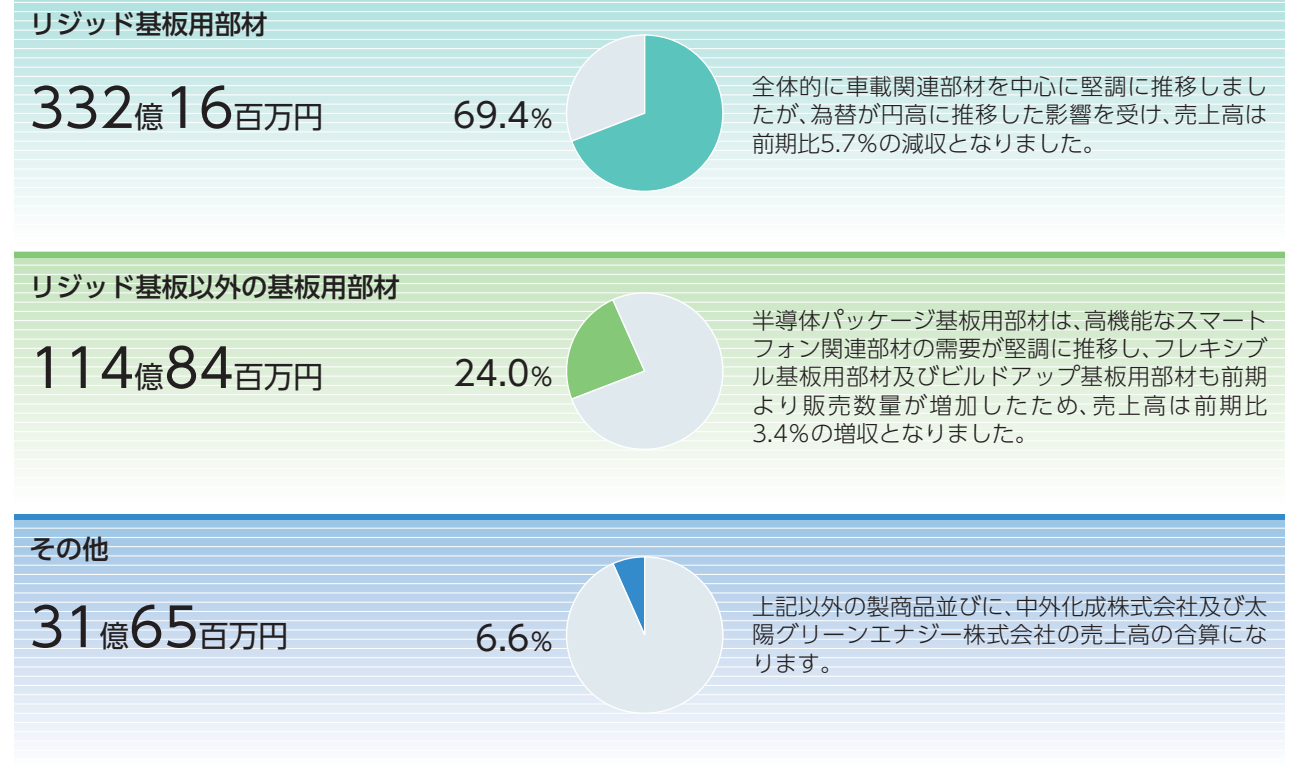
セグメント別売上高推移(連結) (単位:百万円)



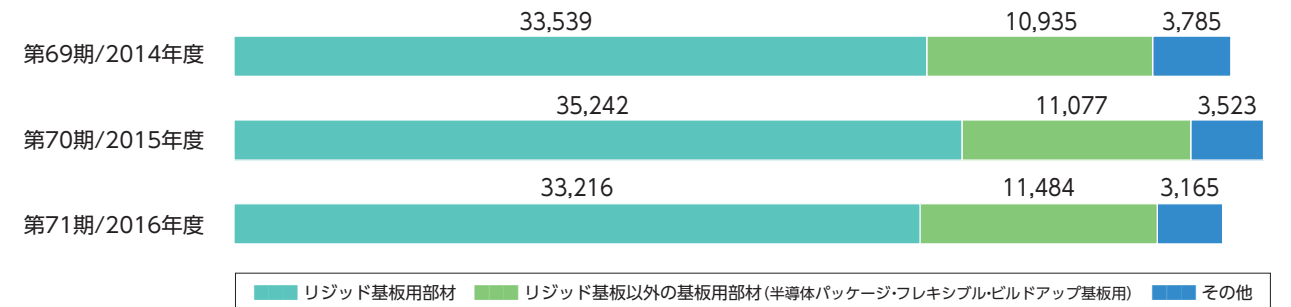
製商品品目別売上高の概要

Segment Review (product group)

売上高構成比



製商品品目別売上高推移(連結) (単位:百万円)



連結貸借対照表(要旨)

科 目	当連結会計年度末 (2017年3月31日現在)	前連結会計年度末 (2016年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	67,483	39,340
現金及び預金	48,800	21,408
受取手形及び売掛金	13,346	12,836
たな卸資産	4,417	4,017
その他	1,017	1,417
貸倒引当金	△99	△339
1 固定資産	24,903	26,124
有形固定資産	18,389	19,644
建物及び構築物	10,359	10,523
機械装置及び運搬具	2,850	2,764
土地	3,920	4,616
その他	1,259	1,738
無形固定資産	4,537	4,919
投資その他の資産	1,975	1,561
投資有価証券・ 関係会社株式・ 関係会社出資金	1,077	696
その他	1,052	866
貸倒引当金	△154	△1
資産合計	92,386	65,464

Point 1 固定資産

太陽ホールディングス株式会社本社の土地・建物に対する約10億円の減損損失の計上などにより、固定資産が約12億円減少しました。

(単位:百万円)

科 目	当連結会計年度末 (2017年3月31日現在)	前連結会計年度末 (2016年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	11,608	10,898
支払手形及び買掛金	6,170	5,765
賞与引当金	436	398
その他	5,000	4,735
固定負債	8,931	9,315
長期借入金	7,169	7,413
退職給付に係る負債	127	116
その他	1,634	1,785
負債合計	20,540	20,214
純資産の部		
2 株主資本	70,125	41,841
資本金	9,171	6,188
資本剰余金	14,824	7,304
利益剰余金	46,308	42,490
自己株式	△178	△14,141
その他の包括利益累計額	938	1,274
その他有価証券評価差額金	195	96
為替換算調整勘定	741	1,190
退職給付に係る調整累計額	0	△12
非支配株主持分	782	2,135
純資産合計	71,846	45,250
負債・純資産合計	92,386	65,464

Point 2 株主資本

DIC株式会社を割当先とする第三者割当による新株式発行及び自己株式の処分などにより、株主資本は約282億円増加しました。

連結損益計算書(要旨)

科 目	当連結会計年度 (2016年4月1日から 2017年3月31日まで)	前連結会計年度 (2015年4月1日から 2016年3月31日まで)
売上高	47,866	49,843
売上原価	26,220	27,355
売上総利益	21,645	22,487
販売費及び一般管理費	12,424	11,522
営業利益	9,221	10,964
営業外収益	234	265
営業外費用	253	100
経常利益	9,202	11,129
特別利益	575	40
特別損失	1,021	32
税金等調整前当期純利益	8,756	11,137
法人税、住民税及び事業税	2,588	2,855
法人税等調整額	△388	153
当期純利益	6,557	8,128
非支配株主に帰属する当期純利益	158	331
親会社株主に帰属する当期純利益	6,398	7,796

連結株主資本等変動計算書(要旨)

(2016年4月1日から2017年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の 包括利益 累計額合計	非支配 株主持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計			
2016年4月1日残高	6,188	7,304	42,490	△14,141	41,841	1,274	2,135	45,250
当期変動額								
剰余金の配当			△2,544		△2,544			△2,544
親会社株主に帰属する当期純利益			6,398		6,398			6,398
連結範囲の変動			△35		△35			△35
連結子会社株式の取得による持分の増減					△609			△609
新株の発行	2,982	2,982			5,965			5,965
自己株式の取得				△0	△0			△0
自己株式の処分		5,145		13,963	19,109			19,109
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△335	△1,352	△1,688
当期変動額合計	2,982	7,519	3,818	13,963	28,283	△335	△1,352	26,595
2017年3月31日残高	9,171	14,824	46,308	△178	70,125	938	782	71,846

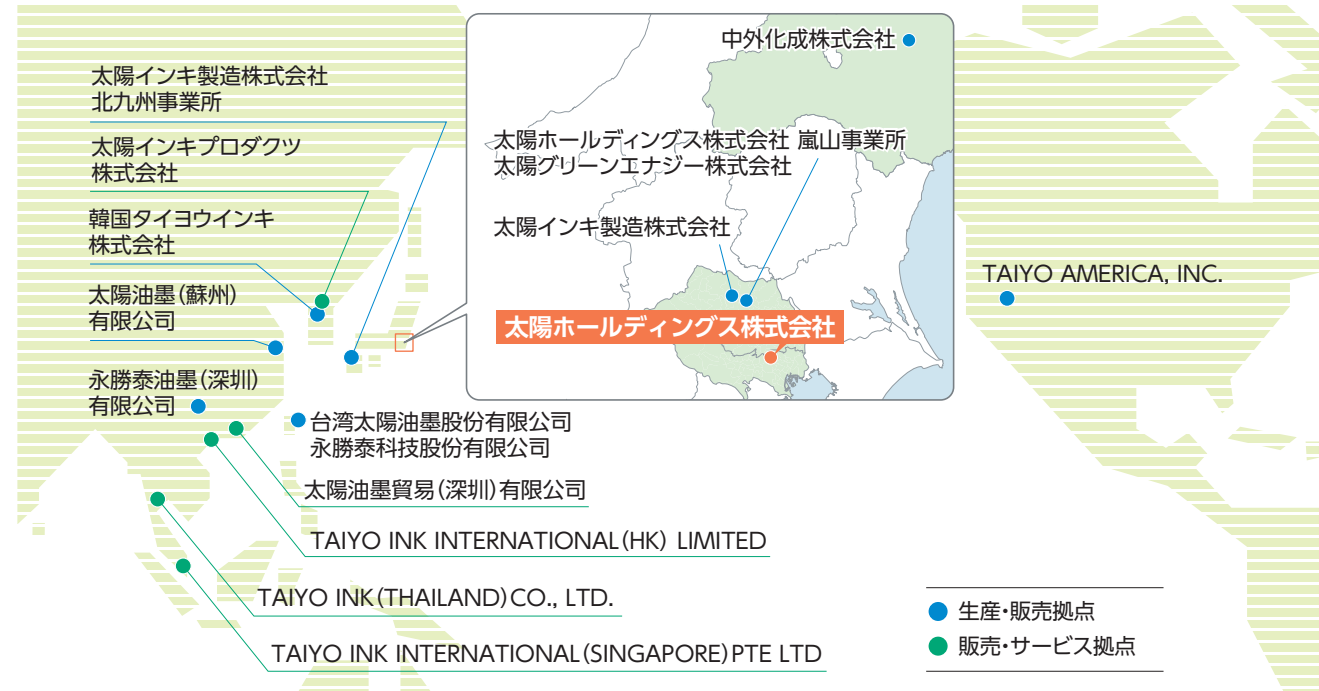
商号 太陽ホールディングス株式会社
 英文表記 TAIYO HOLDINGS CO., LTD.
 設立 1953年9月29日
 資本金 91億7,120万円
 事業の内容 持株会社、グループ全体の経営方針策定及び経営管理
 事業所 本社：東京都練馬区羽沢二丁目7番1号
 嵐山事業所：埼玉県比企郡嵐山町大字大蔵388番地
 従業員 85名

(注) 上記従業員数の中には他社からの出向社員を含んでおり、関係会社への出向社員は含んでおりません。

役員 (2017年6月21日現在)

代表取締役社長	佐藤英志
取締役	森田孝行
取締役	竹原栄治
取締役	齋藤 斉
取締役	三輪 崇夫
取締役	中藤 正哉
社外取締役	樋爪 昌之
社外取締役	岩城 慶太郎
社外取締役	土屋 恵子
社外監査役	堺 昭人
監査役	吉本 陽臣
社外監査役	遠藤 輝好

太陽ホールディングスグループ グローバルネットワーク

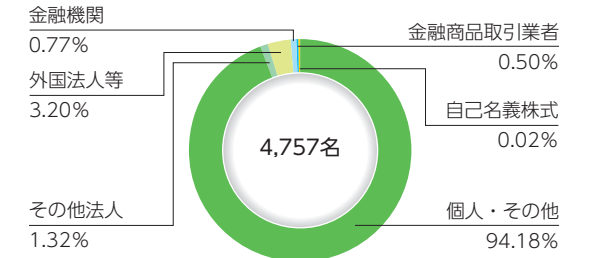


発行可能株式総数	50,200,000株
普通株式	50,000,000株
第1回A種種類株式	100,000株
第2回A種種類株式	100,000株
発行済株式の総数	28,841,100株
普通株式	28,776,600株
第1回A種種類株式	21,600株
第2回A種種類株式	42,900株
単元株式数	100株

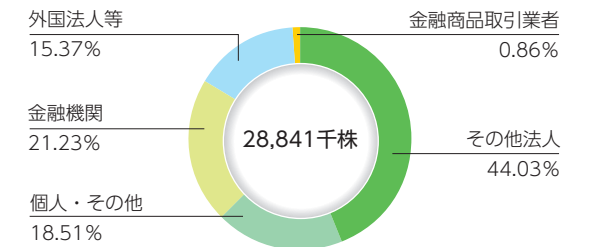
大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
DIC株式会社	5,617	19.47
株式会社光和	5,233	18.14
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,466	5.08
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(三井住友信託銀行再信託分・株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	1,116	3.86
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	903	3.13
JP MORGAN CHASE BANK 385632	661	2.29
四国化成工業株式会社	631	2.18
MISAKI ENGAGEMENT MASTER FUND	587	2.03
東新油脂株式会社	538	1.86
川原光雄	500	1.73

所有者別株主数の構成比



所有者別所有株式数の構成比



Web Site Information

<http://www.taiyo-hd.co.jp>

ウェブサイトのご案内

当社では、株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、積極的に情報開示を行っています。

当社をご理解いただくためにも、ぜひアクセスしてみてください。

